



第四十一章

反省してるの？

1都1道2府43県〇一期一景

photo: Masashige Ogata, writing & layout: Misao Ogata



あまりの天気の良いさにつられて、夫は車を路肩に止め、長閑な道をブラブラと散策に出かけた。すると、妙に気になるモノを発見！好奇心に駆られて、その場所へと近づいてゆく。トタン張りの物置小屋だろうか、つくねと建つその建物に、人の気配は全くない。ピシッと閉ざされたカーテンの中が気になるものの、他に窓らしきものもなく、中の様子を窺うことはできない。

そんな建物の軒下に最前から夫の気になっているそれ、旧式のテレビは置かれていた。この建物の持ち主とは無関係な第三者が不法投棄した…というわけでもなさそうだし、あまりにもその場所に馴染みすぎて

いるため、普通は見過ごしてしまうような光景なのかもしれない。

ただなんとなく、一分の隙もなく閉じられた建物の前に鎮座する様子が、締め出しを食って途方にくれている子どものように思えた…のだとか。「暗くならないうちに帰りなさい」という親の言いつけを守れず、しばらく外に出された…そんな経験、幼い頃にあったような。言われてみれば、このテレビ、なんだかうなだれているような風情。「少し反省している」ように見えなくもない(笑)。頭の上に、なぜか石が乗せられているのも、さらに物悲しさを誘う。

これが、もしも今時の薄型テレビだった

ら、こんなに哀愁漂う光景にならなかったのは間違いない。たとえ画が映らなくても、ポテッとしたこのスタイルには、思わず擬人化してしまうような“温もり”が宿っているのかもしれない。

Profile

尾形正茂 株式会社シェルパの代表であり、カメラマンとして広告や雑誌の他、CDジャケットやグラビアなどに携わり日々格闘中。

尾形 操 平成17年よりフリーとして独立。現在はMacによる広告などのレイアウト・デザインに携わり日々格闘中。

シェルパホームページ

▶ <http://www.sherpa-jp.com>